

訪日中国人が語る日本でのゴミ分別に関する意識調査 — 杭州市住民への聞き取り調査から —

LI Wenqing

I はじめに

筆者は、修士論文「杭州在住の中国人の日中ゴミ分別に対する意識と実態」において、中国浙江省の杭州市を調査地域対象として、杭州市住民のゴミ分別意識および、ゴミ分別行動の育成可能性を調査した。調査対象者は、訪日経験をもち、留学生として日本で生活した中国人5人、および日本に旅行した中国人4人とした。調査内容は日本滞在期間におけるゴミ分別の実態と意識である。調査実施にあたり、中国杭州市に行く必要があったため、自然地理学奨学基金を交通費の一部として使わせて頂いた。そのため、本稿では杭州市での調査の結果を報告させて頂くこととする。

II 調査対象者の概要

本調査対象者は杭州市に在住しており、日本に留学経験がある中国人5人、日本に旅行した経験がある中国人4人であり、各調査対象者の属性は表1に示す。全部で9人を対象とした。調査対象者に研究内容を中国語で説明し、半構造化インタビューを用い、30分から1時間程度の聞き取りを中国語で行った。

III 聞き取り調査の結果

1. 日本で留学経験をもつ調査対象者のゴミ分別

日本で留学経験をもつ調査対象者5名にゴミ分別に関する聞き取り調査を行った。

・日本に行く前に、日本のゴミ分別について聞いたことがあるか。

Aさん：ある。中国でネットから日本のゴミ処理の制度とか、日本のゴミ処理技術とか聞いたことがある。それらのニュースから日本のゴミ分別に関する内容を少し理解した。

Wさん：ある。アニメ、ドラマで日本のゴミ分別に関するシーンを見たことがある。

他の3人（Bさん、Mさん、Zさん）の答えは「ない」である。

表1 聞き取り調査対象者の属性

仮名	属性	年齢層
Aさん	留学生	20代
Bさん	留学生	20代
Mさん	留学生	20代
Zさん	留学生	20代
Wさん	留学生	20代
Lさん	旅行者	20代
Cさん	旅行者	40代
Dさん	旅行者	20代
Hさん	旅行者	20代

(聞き取り調査結果より筆者作成)

・日本で滞在中に引っ越したことがあるか。もしあれば、それぞれ市区町村のゴミ分別に対する印象はどのようなものか。

Aさん：引っ越したことがある。東京都板橋区のゴミ分別はやや厳しい。生ゴミとプラスチックゴミを混合すると、ゴミの回収を拒否されたことがあった。滋賀県草津市矢橋町では、生ゴミとプラスチックゴミを混合して出すのは可能だった。

Bさん：東京都江戸川区のゴミ分別は千葉県船橋市より細かい。江戸川区の場合は、可燃ゴミの中でも生ゴミと他のゴミを分別する。船橋市では、可燃ゴミとしてプラスチックと生ゴミを混合することは可能だ。住んでいるマンションでは、資源ゴミを集める部屋があり、資源ゴミの回収指定日以外でも、資源ゴミをこの部屋に持ち込むことができる。マンションの管理人は資源ゴミを管理している。

Mさん：新宿区の学生寮に住んでいた。特にゴミ分別は厳しいことではないと思う。

Wさん：新宿区は基本的に分別しない。学校の寮だから、ほぼ留学生のみが住んでいた。日本に行ったばかりの時に、詳しいゴミの分別方法がわからないし、寮の管理人がゴミ分別の作業を助けてくれたので、私たちは特にゴミ分別に関心をもっていなかった。

Zさん：墨田区に住んだことがあった。日常生活中に燃えないゴミと粗大ゴミはあまりないと思って、資源ゴミと他のゴミを分別して出していた。中国と差がなさそうと思う。

船橋市でも住んだことがあった。あの時はマンションに住んでいた。管理費が高かったことを今でも覚えている。でも、ゴミ分別は墨田区より便利だと思う。たとえば可燃ゴミを出す日に資源ゴミを出した場合は、回収されなくて、資源ゴミがそのまま資源ゴミの回収日までゴミ置き場に残った。しかし、ゴミ袋は、船橋市指定のゴミ袋を使用しなければいけない。

・日本に滞在していた期間に、ゴミをどのように捨てたか。

Aさん：滋賀県では、ゴミ袋は有料だから、できる限り食材の廃棄を控えるようにしていた。家では生ゴミ、プラスチックゴミと他のゴミ箱を3種類用意した。各種類のゴミを出す日を厳守していた。

Bさん：区役所、学校からゴミ分別に関する情報紙をもらえた。その情報紙を部屋のドアの裏に貼って、情報紙を見ながらゴミを分別していた。

Mさん：日本に来たばかりの時に、全くゴミ分別がわからないので、時々ゴミ分別方法が載っている情報紙を読んだけど、ゴミを出す方法がまだわからない場合もある。その時は、外のゴミ置場のゴミが出されている状況を見に行き、もし私が出したいものと同じ種類のゴミがある場合なら、良かったと思って、そういう風に処理して出した。

Wさん：新宿区に住んでいた時に、ビンや缶やペットボトルなどのゴミを必ず分別していた。

Zさん：ゴミ分別の規定が厳しい所では、規定の通りにやらなければならない気持ちがある。学生寮に住んでいた時、日本人学生は他の外国人学生よりゴミ分別が細かいと感じた。ペットボトルなどの資源ゴミは必ず他のゴミと分別していた。

・日本の公共地域、たとえばコンビニや学校などの場所で、ゴミをどういう風に捨てたか。

Aさん：できる限り分別してゴミを捨てたが、紙類とプラスチック類のゴミを分別しないまま捨てた場合もあった。

Bさん：学校なら、ゴミ箱の標識の通りにゴミを分別して捨てた。コンビニなら、分別しなくてそのままゴミを勝手に捨てた場合がたまにあった。

Mさん：ペットボトルとビン以外のゴミは分別しない。ゴミ箱の中身を確認したら、日本人も分別していないから、私も分別しなくていいと思う。

Wさん：事業系ゴミと家庭ゴミの分別方法は違うから、ゴミ分別の判断はたまにできなかった。特にプラステ

ックと紙類の分別は地域によって違うでしょう、わからない時は一緒に捨てた。

Zさん：学校では、ゴミ箱の種類は3種類か2種類か覚えていないが、私はゴミを捨てる時に、ペットボトルは必ず専用のゴミ箱に捨てたが、燃えるゴミと燃えないゴミは特に気にしていなかった。ゴミ分別に対する関心のレベルは家庭ゴミと違う。

・どのぐらい時間がかかって日本のゴミ分別に慣れたか。

Aさん：二カ月ぐらい。

Bさん：二、三週ぐらい。

Mさん：三カ月ぐらい。

Wさん：約半年。

Zさん：二カ月ぐらい。

・日本から杭州に戻り、ゴミ分別に対してどんな感想をもっているか。

Aさん：杭州よりも日本の方がゴミ分別に関する情報が多かった。日本のゴミの分別の方法も理解しやすいと思う。

Bさん：日本に行く前に、杭州には「ゴミ分別」という概念は全然なかったと思う。2015年に杭州に戻ったら、あの時の杭州は確かに前より「ゴミ分別」の雰囲気があった。

Mさん：日本では、ゴミ分別の法律は強制的、遵守しなければいけないと思っていたが、杭州のゴミ分別はまだ法律のレベルではなくて、やらなくても、個人に対する罰とか何もない。

Wさん：日本のゴミ収集の管理は杭州より徹底していると思う。マンション内でもゴミを管理している管理人がいる。

Zさん：杭州のゴミ分別は前より進歩したと感じた。日本に行く前に日本のゴミ分別はすごく難しいことと思ったが、日本で生活した後は、ゴミ分別は想像していたものより簡単なものと感じた。

2. 日本に旅行した経験をもつ調査対象者のゴミ分別

日本に旅行した調査対象者4名にゴミ分別に関する聞き取り調査を行った。

・日本に行く前に、日本のゴミ分別について聞いたことがあったか。

Lさん：聞いたことがあった。私は日本のアニメが好きだから、アニメの中で日本のゴミ分別を知った。

Cさん：インターネットで日本のゴミ分別を紹介する記

事をよく見た。

Dさん：聞いたことがなかった。

Hさん：聞いたことがあった。何年か前に私は塾で日本語を勉強していたから、教科書の中で日本のゴミ分別を紹介する授業を受けたことがあった。

・日本のゴミ分別について聞いたことがあった調査対象者は、その時、日本のゴミ分別に対してどう思ったか。

Lさん：日本のゴミ分別は結構有名だと思う。アニメで曜日によって違う種類のゴミを出すことが決められているシーンとか、燃えるゴミと燃えないゴミを分別して違うゴミ袋に入れるなどのシーンをよく見た。でも、感想としては「日本の生活はこういう感じだ」しかない。

Cさん：ゴミ分別は細かい。

Hさん：日本のゴミ分別を多少了解したが、でもなぜこんな風に分別するのかは理解できない。

・日本で滞在した期間に、ゴミをどういう風に処理したか。

Lさん：日本の道路にゴミ箱がないことが一番困った。歩いて食べ終わった食品の包装はずっと手の中にもたなければならない。大阪の心斎橋エリアで、お店の前で買った食べ物を食べ終わったら、ゴミを店内で処理した後で店を出た。

Cさん：ホテルでは、ゴミ分別は特に感じなかった。団体旅行で日本に来たので、団体のリーダーは日本のゴミ分別に関して何も説明していなかったが、私も日本語は全然できないし、できる限りペットボトルと他のゴミを分別して捨てた。

Dさん：コンビニで、できるだけゴミを分別して捨てたが、自分の分別方法が正しいかわからない。観光地でたまたま分別しているゴミ箱を見たことがあったが、「可燃」「不燃」とか漢字を書いているが、でも両方の箱の中身のゴミの種類は同じぐらい、実際に分別していないかもしれないと思う。もし間違ったら叱られるかもしれないので、最初はすごく緊張していたが、でも何も起こらなかった。

Hさん：ゴミ箱の標識の通りにゴミを分別して捨てた。ホテルでゴミ分別はなかったが、コンビニで分別したことがあった。日本語がわかるから、標識と説明の通りに指定するゴミを入れるのは難しいことではないと思う。

・日本のゴミ箱に対する印象について。

Lさん：分別の標識は理解しやすいと思う。

Cさん：日本のゴミ箱は綺麗だ。ゴミをゴミ箱の外に捨てたところは見たことがなかった。日本のゴミ箱は杭州と違うと気づいた。

Dさん：地下鉄内のゴミ箱は透明で、各ゴミ箱の中身のゴミ状況を確認できる。

Hさん：日本のゴミ箱の説明や標識はわかりやすいと思う。ペットボトル、ビン、カンのゴミ箱の入り口の形が他のゴミ箱と違うことは今でも覚えている。

・日本のゴミ分別を体験しての感想について。

Lさん：ゴミ分別は当地の規則だから、思わず規則に従ってやった。やらないといけないという、無形の圧力に自分が束縛されている。この無形の圧力は人々の目線だ。私たちは外国人として、当地の規則を注意しなきゃいけないと思う。

Cさん：以前に日本のゴミ分別は細かいと思ったが、外国旅行者、特に団体旅行で日本に来る旅行者としては、ゴミを分別する要求がなさそうと思う。

Dさん：想像していたより難しくなかった。旅行前は日本のゴミ分別について理解できないと思ったが、日本に旅行した後は、日本の綺麗な環境とゴミ分別の間に関係性がありそうと思う。

Hさん：日本のゴミ分別は杭州よりすごく細かいと感じた。日本に滞在する中で、友だちのアパートに一週間ぐらい住んだことがあった。家庭ゴミの処理はもっと複雑、すごく面倒感があった。でも、日本のゴミ分別はそこまで実施しているからこそ、環境は綺麗になったんじゃないのか。

IV 調査結果のまとめと考察

調査結果から、日本に行った経験がある杭州市住民の日本のゴミ分別に対する意識を以下に挙げる。

- ・日本の家庭ゴミの分別は杭州より細かい。
- ・日本ではゴミ分別に関する情報を手に入れやすい。
- ・日本のゴミ分別は中国でも有名だ。
- ・日本のゴミ分別は面倒感がある。
- ・日本のゴミ分別は面倒だけれども、環境に対して優しいと感じた。
- ・日本で生活していた調査対象者は、日本国民のようにゴミ分別をできる。
- ・日本で生活していた調査対象者は、ゴミ分別のルールは厳しいところに面倒感があるけれども、ゴミの出し方を厳守できる。ゴミ分別のルールが簡単な所に住んでいた時は、楽だと思った。

- ペットボトルのような資源ゴミの分別は簡単である.
- 旅行者が日本滞在中に, ゴミ分別を規定されている所では, できる限り規定の通りにゴミを分別して捨てていた.
- 日本のゴミ箱の分別標識はわかりやすい.
- 日本のゴミ箱の形は特徴がある.

謝辞 本調査に際して, 調査協力者9人にご協力をいただき, 御礼申し上げます.

り・ぶんせい

2017年度大学院修了生

Japanese Waste Classification Discussed by Chinese Who Had Visited Japan: Based on a Hearing Investigation of People Living in Hangzhou

LI Wengqing